

10月29日(日)・大会2日目 9:30~10:50 (会場:F402) (80分)

●セッション【6】

テーマ:起業家教育と組織

「中高大における起業家教育が生み出す価値とはなにか」

◎田路則子(法政大学 教授)

藤村まこと(福岡女学院大学 准教授)

玉井由樹(福山市立大学 教授)

林永周(立命館大学 准教授)

秋庭太(龍谷大学 准教授)

渡邊万里子(東京理科大学 講師)

大江秋津(東京理科大学 准教授)

◎セッション・リーダー

[概要]

2022年はスタートアップ創出元年と謳われ、起業家教育の現場として、大学の高等教育機関だけではなく、中高校の中等教育機関や初等教育機関でさえ注目されている。セッションメンバーは、以前より、起業家教育を実践するまたは研究対象として取り組んできた。

起業家教育プログラムは何をもたらしているのか、その効果測定を行った実証研究の結果を紹介しながら、起業家教育の可能性や将来の姿を議論したい。

実証研究の紹介として、①大学生の起業意識調査(GUESSS)から日本の大学生の起業意思形成の要因をマクロに確認した、②三日間の集中プログラム(Startup Weekend)における起業マインドとフローランスの指標から効果測定を行った、③女子高(品川女子高校)におけるプログラムが卒業後のキャリアやコーポレート・アントレプレナーシップ行動に及ぼす影響を実証した、を予定している。

議論したいポイントとして、起業家教育は、能力や志向性にどのような変化をもたらし、また、将来の行動やキャリアに影響を及ぼすのだろうか。具体的には、効果指標の設定と調査方法を検討したい。

[参加者へのメッセージ]

これまで効果測定の指標として、起業意思や自己効力感やキャリア選択が使われてきた。これらの指標は時間経過によって変化しやすく、教育プログラム以外での体験の影響を排除するのは難しい。それら定量調査が持つ課題を踏まえ、定性調査への期待も議論したい。また、起業家教育は起業意思を上げることを目的としてよいのか、もっと広範囲な影響力を持つのではないかという点も考察したい。起業家教育を実践しているまたは、予定している方のご参加をお待ちしています。